

# 河川洪水ハザードマップ

## 大井川(紫福)

令和4年  
3月

## 河川洪水ハザードマップについて

水防法の改正に伴い「想定最大規模の降雨を想定した浸水想定区域図」などが新たに指定・公表されたことを受け「萩市河川洪水ハザードマップ」を改訂しました。

このハザードマップでは萩市で想定される大雨によって引き起こされる災害を知り、対策を考え、もしものときに少しでも被害を軽減することを目的に作成しています。

このハザードマップには、大井川(紫福)が氾濫した場合の範囲とその水深を示し、避難場所や避難の際の危険箇所などを表示しています。

## ●利用にあたって注意して頂きたいこと●

浸水想定区域は、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫高潮及び内水による氾濫などを考慮していないため、浸水想定区域外への浸水や、実際の浸水が想定される浸水深よりも深いなる場合があります。

実際の水害時には、状況に応じて避難情報が出されますが、危険を感じた場合は細心の注意をはらい、早めに自己避難を開始してください。

## ●連絡先

萩市役所 総務部  
防災危機管理課  
TEL: 0838-25-3808  
FAX: 0838-21-3501  
E-Mail: bousai@city.hagi.lg.jp

福栄総合事務所  
TEL: 0838-52-0121  
FAX: 0838-52-0262

紫福支所  
TEL: 0838-53-0211  
FAX: 0838-53-0212

この図は国土地理院の基盤地図情報  
(数値高モデル)を加工したもの。

## 防災情報【防災情報の伝達と入手方法】

## 防災情報の伝達方法



## 困った時の対応・連絡先

消防 119 火事が発生した!  
大ヶガをした!

警察 110 事件・事故がおきた!

災害用伝言ダイヤル(安否確認) 171

録音するときは1 再生するときは2

萩市役所 Hagi City Office  
0838-25-3131萩市消防本部・消防署  
0838-25-2772萩警察署 Hagi Police Station  
0838-26-0110

萩市内の連絡先

萩市への影響が大きいと考えられる6つの活断層(菊川断層・萩北断層・オカヒタ断層・徳佐一地福断層・三ヶ岳東方断層・弥次断層)による地震の震度を推定し、最大震度を色分けで示したハザードマップです。

ため池ハザードマップ

古い時代に造られ、未整備のため池が決壊した場合の浸水域を想定したハザードマップです。

河川洪水ハザードマップ

河川堤防が万が一決壊したとき避難に必要な情報(浸水想定区域と浸水深、堤防決壊想定ポイント、避難所、土砂災害危険箇所(かけ崩れ、土石流等)、防災の心得などを示したハザードマップです)。

地震ゆれやすさマップ

萩市への影響が大きいと考えられる6つの活断層(菊川断層・萩北断層・オカヒタ断層・徳佐一地福断層・三ヶ岳東方断層・弥次断層)による地震の震度を推定し、最大震度を色分けで示したハザードマップです。

ため池ハザードマップ

古い時代に造られ、未整備のため池が決壊した場合の浸水域を想定したハザードマップです。

河川洪水ハザードマップ

河川洪水ハザードマップ

この図は国土地理院の基盤地図情報  
(数値高モデル)を加工したもの。

## 災害への心構え

## ハザードマップの活用について

家の位置を確認し、避難経路を考えよう  
あなたの家の場所をマップに書き込み、最寄りの避難場所・避難所を複数選択しましょう。



実際に避難場所・避難所まで歩いてみよう  
地図で選択したそれぞれの避難場所・避難所までの経路を確認しましょう。また、避難経路が安全かどうか、避難にどのくらい時間がかかるかについても確認しましょう。



## 家の周りの災害の危険性を確認しよう

あなたの家は、土砂災害による警戒区域もしくは、浸水が想定されている地域ですか? 家の周りにブロック塀などの危険な場所はありませんか?



## 萩市を襲った過去の豪雨灾害

平成25年7月28日に萩市東部地域を襲った局地豪雨では、須佐地域で1時間の降水量が138.5mm、わずか3時間あまりで7月の月降水量の平均値(281.6mm)を上回る301.5mmを記録し、気象庁から「これまでに経験したことのないような大雨」と発表されるなど記録的な豪雨となり、甚大な被害を及ぼしました。



## 地域での防災活動

## 自主防災組織に参加しましょう

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分で守る」という、地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて結成される防災組織のことです。お住まいの地域に自主防災組織があれば、積極的に活動に参加し、地域で防災訓練等の防災活動に取り組みましょう。

## 防災出前講座

萩市では、近年頻発する災害等に迅速に対応するため、防災の専門知識・経験を持った地域防災マネージャーを平成29年から設置しました。地域の防災力アップを目標とした、防災出前講座に地域防災マネージャーが担当し、防災・減災や災害リスクについて詳しく解説します。

お問い合わせ 防災危機管理課  
0838-25-3808

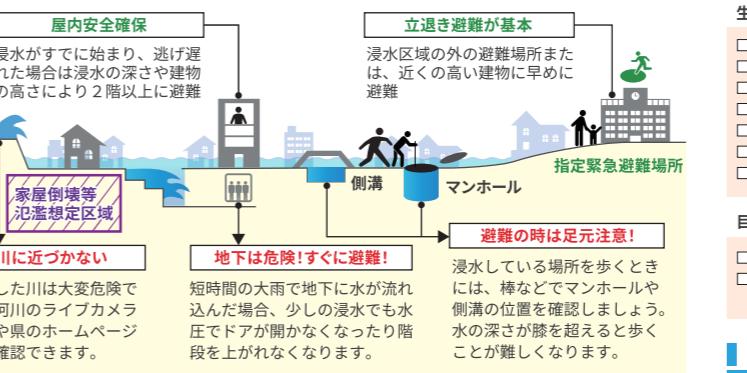
## 地域での助け合い

行動は2人以上で家族や近所の人たちと一緒に行動しましょう。お年寄りや身体の不自由な人などの手助けをしましょう。



## 洪水・土砂災害の特性と避難行動

## 洪水の特性 避難時の正しい安全確保について知っておこう!



## 土砂災害の特性 土砂災害の危険性と避難行動について知っておこう!



## 2種類の土砂災害警戒区域

**土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)**  
建物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に目立つ危険が生じるおそれがあると認められる区域

**土砂災害警戒区域(イエローゾーン)**  
住民等の生命または身体に危険が生じるおそれがあると認められる区域



## 避難のポイント

建物の2階以上の斜面と反対側の部屋や近くの丈夫な建物の上階に避難  
土石流の場合、流れから離れてだけ離れ、土砂の流れとは垂直方向に逃げる

## 事前に決めておこう! わが家の「マイ・タイムライン」「いつ」「だれが」「なにをするのか」を時間ごとに決めてみよう!

## 日頃からの備え【避難用品の準備と自宅の確認】

## 非常持出品 必要なものを持つだけ! これがないと絶対ダメというものを準備

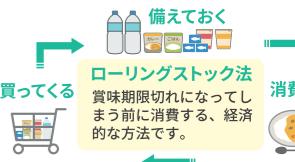
生活必需品	女性の方	乳幼児がいる方	ご高齢、介護の必要な方
□水(水筒またはペットボトル) □非常食 □スマートフォン、携帯電話 □予備バッテリー □充電用コード □携帯トイレ □トレイルベーパーなど	□生理用品 □消臭袋 □ヘア留め用品 □オムツ □保湿クリーム □帽子 □眉ペンシルなど	□おむすび □抱っこ紐 □母子手帳 □トイレットペーパーなど	□眼鏡 □入歯と手入れ用品 □口腔ケア用品 □介護用品 □大人用オムツ □介護用ウェットティッシュ □常備薬 □お薬手帳 □予防注射予定一覧 □おもちゃなどお子さんが落ち着ける物など

目的悪い方	感染症対策
□眼鏡の予備 □コンタクトレンズと手入れ用品など	□手指消毒液等 □マスク □体温計など

## 被災後に備える ローリングストック法で非常食や日常品を準備しましょう!

普段の食事の中にローリングストック法を取り入れましょう。

ローリングストック法とは、買った食品や日常用品を買いつめながら、毎日少しずつ消費していく方法です。主食は、無洗米を【1合半(225g) × 人数 × 備える日数】で準備すると良いでしょう。カセットコンロや予備ボンベは必需品です。



## 被害を抑えるための自衛策

## 家の周りを確認しましょう

日頃から、台風や大雨時に備え、家の周りの点検や掃除をしておきましょう。



## 家の浸水を軽減しましょう

ご家庭にある物を利用して、家屋への浸水を防ぎましょう。玄関などの出入口や、床下への浸水防止の対策を行いましょう。

## ●土のう代用品

【簡易水のう】ごみ袋を二重にし半分程度水を入れて、ダンボール箱に入れ連結します。

## ●水回りの排水溝

簡易水のうを置き排水溝の逆流を防ぎます。

## ●止水板

出入口は長めの板と簡易水のうを使用し、浸水を防ぎます。

## ●風呂の貯水

風呂の貯水は下水の逆流防止、生活用水としての利用などの利点があります。

いつ	住民の皆さんのるべき行動	だれが	なにをするのか
警戒レベル1 早期注意情報 (気象庁が発表)	自分に当てはめて「マイ・タイムライン」を完成させよう!	なまえ	行 動 記入例
警戒レベル2 洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)	●災害への心構えを高める ●最新の気象情報を入手する		・気象情報の確認 ・家族の行動予定を確認 ・携帯電話の充電
警戒レベル3 高齢者等避難 (市町村が発令)	●ハザードマップ等で自らの避難行動を確認		・非常に持出袋を準備 ・避難方法を確認 ・貴重品を管理
警戒レベル4 避難指示 (市町村が発令)	●危険な場所から高齢者等は避難		・高齢者等避難行動 ・移動 ・近隣の要配慮者へ声掛け
警戒レベル5 緊急安全確保 (市町村が発令)	●危険な区域から少しでも安全な場所に速やかに避難 ●避難先までの移動が困難な場合は近くの安全な場所、自宅内のより安全な場所に移動		・避難所へ移動 ・自分で避難する場合、安全な部屋へ移動
	<b>災害が発生または切迫している状況</b>		<b>命の危険 直ちに安全確保を!</b>

自然が相手なので、マイ・タイムラインどおりに進むことは限りません。あくまで行動の目安として日頃から備えましょう。気象情報や避難情報などをこまめにチェックして危険を感じたら臨機応変に避難のタイミングを判断しましょう。